

五島市地域アグリゲータ共同事業者選定仕様書

1. 事業名 五島市地域アグリゲータ共同事業者選定
2. 事業場所 五島市内
3. 選定期間 契約締結日から脱炭素先行地域事業で計画された期間が終了するまで

4. 業務目的

国が「2030年度に温室効果ガスを2013年度比46%削減、2050年までに脱炭素社会の実現」を宣言し、令和3年6月に地域脱炭素ロードマップを示したことを受け、本市は、令和2年12月に「五島市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、令和5年9月に「五島市ゼロカーボンシティ計画」を公表した。

本計画を早期に実現するため、環境省が公募する第5回脱炭素先行地域に応募し、令和6年9月に選定された。

本プロポーザルは、本市が応募した脱炭素先行地域に記載された事業計画を遂行するにあたり、事業の中心的役割を担う共同事業者を選定することを目的とする。そのため、事業者の業務実績、専門性等を考慮し、総合的な見地から判断して最適な事業者を選定するために公募型プロポーザルを実施する。

5. 事業内容

本事業は、下記のとおり実施するものとする。

(1) 地域アグリゲータ共同事業者の選定

地域アグリゲータ共同事業者の選定は、公募型プロポーザル方式にて行う。

選定に当たっては選定委員会を組織し、本業務への参加希望事業者が本市に提出した参加表明書、企画提案書およびプレゼンテーションの内容を審査し、共同事業者を決定する。

(2) 協定の締結

地域アグリゲータ共同事業者の選定後、速やかに連携協定を締結し、後記(3)に記載する業務を推進する。なお、締結を予定している協定書の内容は、別紙1「五島市地域脱炭素に関する連携協定書(案)」(以下、「協定書」という。)を参照すること。

(3) 地域アグリゲータ共同事業者に求める業務

①出力制御を増やさないう再エネ発電所および蓄電池を運用する。

市内の再エネ発電所の発電データを集約すると共に、一般送配電事業者による「送電混雑に伴う出力制御」予想を参考にしながら、地域の出力

制御量を増やさない発電所・蓄電池運用を実施すること。

②市内の再エネ発電所から得られる非 FIT 非化石証書を一手に取得し分配する。

市内の大規模再エネ発電所を含む再エネ発電所から生じる非化石価値をとりまとめて、地域新電力、発電事業者のコーポレート PPA 契約先等に分配すること。

③リソースアグリゲータとして DR を実施する

地域新電力と協力して DR（ダイヤモンドレスポンス）サービスを標準メニュー化する。とりわけ、下げ DR については需給ひっ迫に備えて、基盤体制の提供も検討すること。

④2030 年以降の PPA 事業検討

脱炭素先行地域事業の終了後、交付金なしでも蓄電池が導入できる仕組みについて検討すること。

(4) 業務に関する費用

上記に記載する業務は、国からの交付金等の財源が確保される場合を除き、地域アグリゲータ共同事業者の負担とする。

6. スケジュール管理

事業のスケジュールは、遅滞なく進めるものとする。

7. 打合せ・報告

協定書締結後、事業の方針・内容・遂行等について、発注者との間で、双方が必要な都度打合せを行い、その結果について記録を提出し、確認を受ける。

8. 疑義

事業の遂行において疑義が生じた場合には、速やかに発注者と協議する。

9. 事業内容の秘密保持

事業における調査内容・結果について、発注者の承諾なしに、他人に公表・貸与してはならない。

10. 資料等の貸与及び返還

事業の遂行において必要となると図書等の資料は、貸与する。

貸与された図書等の資料は、必要なくなった場合は、直ちに返還すること。

別紙：五島市脱炭素先行地域計画概要書

五島市脱炭素先行地域計画提案書